

# 【日本企業広報】 日・UNIDO協力プロジェクト紹介ウェビナー(ウィーン) ～日本企業12社の技術の移転による途上国のコロナ対策支援～

開催日: 令和4年3月24日

場 所: ウィーン国際センター及びweb

共催: ウィーン代表部、国連工業開発機関 (UNIDO)

協力/参加企業: AGC(株)、(株)キンセイ産業、サラヤ(株)、Jトップ(株)、  
(五十音順) 中和機工(株)、TSP太陽(株)、(株)テクノメディカ、  
テリオステック(株)、(株)トロムソ、光と風の研究所(株)、  
日之出産業(株)、丸昌産業(株)

在ウィーン代表部

## 【概要】

- 日本企業が有する関連分野の技術を移転することで、途上国のコロナ対策を支援すべく、UNIDOの東京投資・技術移転促進事務所(ITPO東京)と協力して2020年からプロジェクトを実施。
- 同事務所が有する「サステナブル技術普及プラットフォーム(STePP)」を活用して、中小企業を中心とする日本企業12社が有する、衛生・環境等、コロナや感染症の対策に資する技術(消毒液製造、抗菌塗装、医療用廃棄物処理など)を選択、これを移転する全15案件を、アジア・アフリカの計10か国で展開・実施した。
- 令和4年3月、同プロジェクトの成果共有セミナー/ウェビナーをUNIDOと共催し、各社の技術と移転事業の経験について紹介。2社からは代表者がパネリストとして出席。
- ウィーンにおけるコロナ対策規制のため、バーチャル参加を中心としたハイブリッド・ウェビナー形式で開催し、230人の聴衆が参加。

